



自主誠実

加古川市立神吉中学校 学校だより

校長室より 修学旅行特集号

＜令和7年度 修学旅行スローガン＞

長崎の地で 共に学ぼう 命の尊さ 異国情緒の旅を
～Let's enjoy～

3年生「修学旅行」を5月20日（火）～22日（木）の2泊3日の日程で実施し、豊かな自然と様々な歴史や文化を持つ長崎と福岡を訪れました。修学旅行3日間の生徒たちの様子を保護者のみなさまにお知らせします。

1日目 5月20日（火）

6時20分に体育館に集合し、健康観察後、出発式を行いました。出発式では、3日間お世話になるJTBの添乗員さん、写真屋さんを紹介し、その後、バスに分乗してJR姫路駅に向かいました。

修学旅行専用新幹線に乗り、予定通り8時40分に姫路駅を出発しました。新幹線内では、各自で持参したカードゲームをしたり、友だちと楽しく話をしたりしながら過ごしました。10時頃に弁当を食べ、10時56分に博多駅に到着しました。



その後、博多でクラスごとにバスに乗り、長崎へ向かいました。バス内では、バスガイドさんが、九州に関する興味深い話やゲームなどで楽しませてくれました。また、長崎市が近くなると、被爆地としての長崎に関するお話をしてくれました。

平和学習

この修学旅行では、「被爆地 長崎を訪れ、命を大切に、平和を尊重する心を育む」ことを目的の一つとしています。長崎市総合福祉センターでは、被爆を体験され

た池田道明さんのお話を聞かせていただきました。池田さんは、「惨劇を繰り返してはならないという願いを次世代へ語り継ぐことこそ、九死に一生を得た私に課せられた使命だ」と思い、語り部として活動されていると話されていました。



被爆された当時の惨状や、戦争の恐ろしさ、命の尊さなどを、生徒たちは池田さんのご講和から深く学ぶことができました。次の世代を担っていく中学生に語ってくださった池田さんの思いを、生徒のみなさんは深く胸に刻み、これからも平和について学び続けてほしいと思います。最後に、ご講話いただいた池田さんへの感謝の気持ちを込めて花束を贈り、平和への願いを込めて「アンジェラスの鐘」を合唱しました。3年生全員の心が込められた素晴らしい歌声でした。



次に、バスに乗車して原爆資料館に移動し、館内を見学しました。原爆資料館には、被爆資料や被爆の惨状を示す写真、映像資料等の展示の他、原爆が投下されるに至った経緯、核兵器開発の歴史などが展示されていました。その後、バスガイドさんの説明を受けながら、爆心地公園、平和公園を見学し、平和記念像前で平和集会を行いました。集会では、はじめに全員で黙とうを捧げ、平和宣言を行いました。この平和宣言は、神吉中3年生全員が、すべての人々が幸せに生きていくために、戦争や平和、命、家族、友人などについて考えてつくったものです。平和記念像の前で、代表生徒がしっかりと宣言しました。そして最後に、み



んなでつくった千羽鶴を奉納しました。



ゆやど雲仙新湯

平和学習後、バスに乗車して雲仙に向かいました。1泊目は、豊かな温泉に恵まれ、敷地内に4本の源泉を持つ「ゆやど雲仙新湯」です。

到着後、夕食会場に移動し、SDGsの取組について旅館の方がお話をしてくれました。島原半島は、豊かな海に囲まれ、山、



田畑、果樹園など多くの自然に恵まれており、「ゆやど雲仙新湯」では、地産の新鮮な恵みを使用した料理を提供されているそうです。夕食では、自然の恵みが詰め込まれた料理を存分に堪能しました。その後、大浴場で、硫黄のにおいが漂う雲仙温泉に入浴しました。



2日目 5月21日(水)

6時15分に起床し、朝食後、長崎市内に向かいました。

長崎市内見学

到着後、バスガイドさんの引率により、「大浦天主堂」などを見学しながら「グラバー園」に向かいました。

グラバー園には、トーマス・ブレイク・グラバーの邸宅をはじめ、3棟の国指定重要文化財と、長崎市内に点在していた貴重な伝統的建造物が移築復元されており、園内には、居留地時代の面影を残す石畳や石段が広がっていました。生徒たちは、異国情緒あふれる長崎の観光スポットを満喫しました。



その後、ハウステンボスに向かうバス内では、バスガイドさんの解説により、車窓から、永井隆博士が病魔と闘いながら執筆活動をされた「如己堂」や、「浦上天主堂」などを見学しながら移動しました。

ハウステンボス内班別行動

ハウステンボスに到着後、添乗員さんから入場券とミールクーポンを受け取り、班別行動を開始しました。あいにくの雨天となってしまいましたが、生徒たちは、ミールクーポンを利用して昼食を食べたり、観覧車に乗ったりするなど、ヨーロッパのような街並みや、石畳、海へとつながる運河などが広がるハウステンボスを満喫しました。



ヒルトン福岡シーホーク

16時にハウステンボス班別行動を終了し、バスに乗り込んで福岡に向かい、予定通り18時に、2泊目の「ヒルトン福岡シーホーク」に到着しました。ホテルは博多湾を望むオーシャンフロントに位置しており、福岡ソフトバンクホークスの本拠地である「みずほ pay pay ドーム」に隣接していました。生徒たちは、18階から20階の客室に宿泊しましたが、客室からは、博多湾や福岡のきれいな景色が広がっていました。



各部屋に入室した後、ハウステンボスが雨天であったため体調を崩さないように、まず入浴をして、その後、豪華な会場で夕食バイキングの時間を過ごしました。



夕食後に実施したレクリエーションには7組の生徒がエントリーし、演奏や歌、クイズなどで盛り上げてくれました。出演してくれたみなさん、ありがとうございました。



3日目 5月22日（木）

6時00分に起床し、朝食後、予定通り8時にホテルを出発し、太宰府天満宮に向かいました。

太宰府天満宮

太宰府天満宮は、菅原道真公をお祀りする総本宮として称えられ、学問・文化芸術の神として崇敬されています。まもなく進路選択という大切な時期を迎える生徒たち。自分がめざす進路が実現するように、参拝をしたりお守りを購入したりしました。





マリンワールド海の中道

「マリンワールド海の中道」では、九州の海をテーマにたくさんの海の生き物が展示されており、生徒たちは迫力ある「外洋大水槽」などを鑑賞しました。また、11時から、ショープールでアシカのステージやイルカのショーがありました。



レストランカノビアーノで昼食をとった後、バスで博多駅に向かいました。



修学旅行専用新幹線に乗車して、予定通りの時刻に博多駅を出発しました。姫路駅到着後の解散式では、3日間お世話になった JTB のみなさんや写真屋さんに実行委員がお礼のこたばを述べ、3日間の行程を終えました。長崎や福岡ではクラスごとにバスで移動しましたが、バス内ではバスガイドさんが、長崎や福岡の歴史や文化に関することを説明してくださったり、クラスのみんなが参加できるようなゲームをしてくださったりしました。最終日、博多駅でお別れした時は、生徒たちが寂しそうな表情で感謝の気持ちを述べていました。バスガイドさんや添乗員のみなさん、宿泊した旅館やホテルのみなさんとの出会いも、大切な思い出として残っているのではないのでしょうか。生徒たちの表情を見ると、この修学旅行が充実した3日間であったことがうかがえます。また、修学旅行では周りの友だちを大切にして行動している場面がたくさん見られました。残された中学校生活においても、学年のよさを大いに生かし、仲間や先生方とともにたくさんの思い出をつかってほしいと思います。

